

# 隅 藏 康 一 准教授

---

専門分野：知的財産政策、科学技術政策

学 位：博士（工学）（東京大学）

略 歴：1993年東京大学理学部卒、95年同大学院理学系研究科生物化学専攻修士課程修了、95年同大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程進学、98年博士（工学）学位取得、同年東京大学先端科学技術研究センター客員助手、99年同センター助手、2001年本学助教授、2007年本学准教授。2012年6月より文部科学省科学技術政策研究所（2013年7月より文部科学省科学技術・学術政策研究所に名称変更）第2研究グループ総括主任研究官、本学連携准教授（現在に至る）。

## 1. 業 績 (A)

### (1) 雑誌論文 (単著)

- \* 隅藏康一「ライフサイエンスの知的財産にかかわる倫理問題—幹細胞特許に着目して—」『研究 技術 計画』、25 巻、197~207 頁（2012 年）※2010 年の巻号であるが実際の刊行は2012 年。
- \* 隅藏康一「ラボノート再考：大学のラボラトリーにおけるリーダーシップとナレッジマネジメント」、日本大学知財ジャーナル、6 巻、47-58 頁（2013 年）

### (2) 図 書 (編・共著等)

- \* 堀友繁監修・田中正躬編著『幹細胞技術の標準化—再生医療への期待』：隅藏康一「知財戦略」（pp.166-175）を執筆。
- \* 藤野仁三監修・鈴木公明編著『知財戦略の教科書』：隅藏康一「バイオ特許戦略」（pp.192-197）を執筆。

### (3) 学会発表

- \* 隅藏康一「大学における基礎研究の社会還元メカニズムの研究：新規医薬品創出に着目して」、日本知財学会第10回年次学術研究発表会、大阪工業大学、2012年12月8日。
- \* 古澤陽子・山内勇・枝村一磨・米山茂美・隅藏康一「ノウハウ・営業秘密が企業のイノベーション成果に与える影響」、日本知財学会第10回年次学術研究発表会、大阪工業大学、2012年12月8日。（口頭発表は枝村による）
- \* 沖俊彦・仙石慎太郎・隅藏康一「多能性幹細胞関連技術の知的財産化とその応用」、日本知財学会第10回年次学術研究発表会、大阪工業大学、2012年12月8日。（口頭発表は沖による）
- \* 齋藤裕美・隅藏康一「情報通信分野におけるアカデミックナレッジの活用と評価」、日本知財学会第10回年次学術研究発表会、大阪工業大学、2012年12月9日。（口頭発表は齋藤による）
- \* 枝村一磨・隅藏康一・古澤陽子・米山茂美・山内勇「企業の知的財産活動に関する調査 -平成23年度民間企業の研究活動に関する調査より-」、日本知財学会第10回年次学術研究発表会、大阪工業大学、2012年12月9日。（口頭発表は枝村による）
- \* 隅藏康一「日本のバイオベンチャー企業における発明者構成」、研究・技術計画学会

第 27 回年次学術大会、一橋大学、2012 年 10 月 28 日。

- \* 齋藤裕美・隅藏康一「大学，公的研究機関の研究成果の産業応用への評価—産学連携を経験した企業としない企業の比較—」、研究・技術計画学会第 27 回年次学術大会、一橋大学、2012 年 10 月 28 日。（口頭発表は齋藤による）
- \* 古澤陽子・米山茂美・山内勇・枝村一磨・隅藏康一「研究開発マネジメントとイノベーション成果—「民間企業の研究活動に関する調査 2011」より—」、研究・技術計画学会第 27 回年次学術大会、一橋大学、2012 年 10 月 28 日。（口頭発表は古澤による）
- \* 齋藤裕美・隅藏康一「情報通信分野におけるアカデミックナレッジのインパクト」、日本機械学会 2012 年度年次大会、金沢大学、2012 年 9 月 10 日。（口頭発表は齋藤による）
- \* 隅藏康一・齋藤裕美「情報通信分野における研究阻害要因の分析」、日本機械学会 2012 年度年次大会、金沢大学、2012 年 9 月 10 日。（口頭発表は隅藏による）
- \* Thomas Gurney, Antoine Schoen, Edwin Horlings, Koichi Sumikura, Patricia Laurens, Peter Van Den Besselaar and Daniel Pardo, “Knowledge Capture Mechanisms in Bioventure Corporations,” 17<sup>th</sup> International Conference on Science and Technology Indicators, Montreal, 2012 年 9 月 7 日。（口頭発表は Thomas Gurney による）

## 2. 業績 (B)

### (1) 書評・解説等

- \* 歴史学研究会編『世界史資料 11 二〇世紀の世界Ⅱ』（2012 年）：隅藏康一「遺伝学とバイオ産業（1990 年代以降）」（pp.403-404）を執筆。
- \* 隅藏康一「知的財産権」、日本機械学会誌、115 巻、602 頁（機械工学年鑑 2012 の 24・4）（2012 年）

### (2) その他

- \* 隅藏康一「大学における基礎研究の社会還元メカニズムの研究：新規医薬品創出に着目して」、『日本知財学会第 10 回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM 中 4 頁（2012 年）
- \* 古澤陽子・山内勇・枝村一磨・米山茂美・隅藏康一「ノウハウ・営業秘密が企業のイノベーション成果に与える影響」、『日本知財学会第 10 回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM 中 4 頁（2012 年）
- \* 沖俊彦・仙石慎太郎・隅藏康一「多能性幹細胞関連技術の知的財産化とその応用」、『日本知財学会第 10 回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM 中 4 頁（2012 年）
- \* 齋藤裕美・隅藏康一「情報通信分野におけるアカデミックナレッジの活用と評価」、『日本知財学会第 10 回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM 中 4 頁（2012 年）
- \* 枝村一磨・隅藏康一・古澤陽子・米山茂美・山内勇「企業の知的財産活動に関する調査—平成 23 年度民間企業の研究活動に関する調査より—」、『日本知財学会第 10 回年次学術研究発表会要旨集』、CD-ROM 中 4 頁（2012 年）
- \* 隅藏康一「日本のバイオベンチャー企業における発明者構成」、『研究・技術計画学会年次学術大会講演要旨集』27 巻、281～286 頁（2012 年）
- \* 齋藤裕美・隅藏康一「大学，公的研究機関の研究成果の産業応用への評価—産学連携を経験した企業としない企業の比較—」、『研究・技術計画学会年次学術大会講演要

旨集』27巻、819～823頁（2012年）

- \* 古澤陽子・米山茂美・山内勇・枝村一磨・隅藏康一「研究開発マネジメントとイノベーション成果—「民間企業の研究活動に関する調査2011」より—」、『研究・技術計画学会年次学術大会講演要旨集』27巻、1051～1054頁（2012年）
- \* 齋藤裕美・隅藏康一「報通信分野におけるアカデミックナレッジのインパクト」『日本機械学会2012年度年次大会講演論文集』、CD-ROM中5頁（2012年）
- \* 隅藏康一・齋藤裕美「情報通信分野における研究阻害要因の分析」『日本機械学会2012年度年次大会講演論文集』、CD-ROM中5頁（2012年）
- \* Thomas Gurney, Antoine Schoen, Edwin Horlings, Koichi Sumikura, Patricia Laurens, Peter Van Den Besselaar and Daniel Pardo, “Knowledge Capture Mechanisms in Bioventure Corporations,” Proceedings, 17<sup>th</sup> International Conference on Science and Technology Indicators, 357-370 (2012).
- \* 隅藏康一「バイオバンクと知的財産」、『平成16年度～平成24年度 個人の遺伝上表に応じた医療の実現プロジェクト（オーダーメイド医療実現化プロジェクト）ELSI委員会活動報告書』、69-75頁、2013年。
- \* 隅藏康一「4. 2 1 中国」（pp.148-154）；「4. 2 4 フィリピン」（pp.177-180）；「4. 2 5 タイ」（pp.181-183）、一般社団法人日本国際知的財産保護協会（AIPPI・Japan）『知的財産と遺伝資源の保護に関する各国調査研究報告書』（2013年）
- \* 隅藏康一「産業ニーズ④（知財戦略とイノベーション）」、独立行政法人科学技術振興機構研究開発戦略センター『俯瞰ワークショップ報告書 ライフサイエンステクノロジー分野』（2013年）pp.61-64。
- \* 独立行政法人科学技術振興機構研究開発戦略センター『研究開発の俯瞰報告書 ライフサイエンス・臨床医学分野（2013年）』：執筆協力者の一人である。
- \* 文部科学省科学技術政策研究所第2研究グループ『民間企業の研究活動に関する調査報告2011』（2012）：総括主任研究官として報告書のとりまとめを行った。
- \* CITI Japan プロジェクト平成24年度作成教材：「共同研究のルール」の教材作成協力者の一人である。

### 3. 教育

#### (1) 講義

- \* 「技術革新と社会変貌」（オープンセミナー）のコーディネーション、講義の一部を担当

#### (2) 論文指導

- \* 博士課程3名（科学技術政策プログラム、主指導）

#### (3) その他

- \* 客員研究員 5名の受け入れ

### 4. 管理・運営への関与

- \* ライフサイエンス政策研究プロジェクト メンバー
- \* 科学技術イノベーション政策プログラム・コミティー メンバー
- \* 図書館運営委員会 委員

## 5. 社会的貢献（A）

### （1）他大学・研究所等における活動

#### ① 非常勤講師

- \* 東京理科大学 総合科学技術経営研究科 知的財産戦略専攻、「バイオ特許戦略」（前・後期に各2単位）を担当
- \* 東京大学教養学部 基礎科学科、「科学史特論Ⅱ」（2単位）を担当
- \* 東京大学大学院 総合文化研究科 現代科学技術概論Ⅰの一部として、「細胞の所有権」に関する講義を実施
- \* 東京大学 ライフイノベーションリーディング大学院 ライフイノベーションリーダー論の一部として、「ラボラトリーマネジメント、知的財産」の講義を実施
- \* 早稲田大学理工学部・大学院理工学術院 「知的所有権特論」（1単位）を担当
- \* 早稲田大学 企業ビジネスと国際標準化の一部として、「バイオ分野～iPS細胞・知的財産権・標準化」の講義を実施
- \* 大阪工業大学大学院 知的財産研究科「現代知的財産制度特論」の一部として、「バイオテクノロジーと特許の課題・現代科学と知的財産」の講義を実施
- \* 東京工業大学 工学部、「総合科目A 科学者とは」の一部として、「知的財産権をめぐる問題」の講義を実施

#### ② 委員会等

- \* 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 学術研究のためのABSベストプラクティス検討勉強会 委員

#### ③ その他

- \* 広島大学 高等教育研究開発センター 客員研究員
- \* 東京大学先端科学技術研究センター 客員研究員（渡部研究室）
- \* 東京理科大学 イノベーション研究科 イノベーション研究センター フェロー

### （2）財団法人等における活動

#### ① 役員，委員会

- \* 知的財産教育協会 知的財産管理技能検定 技能検定委員
- \* DIPEX-Japan、情報倫理委員会、委員
- \* 公益信託マイクロソフト知的財産研究助成基金 運営委員会、委員
- \* 財団法人東京都医学研究機構、評議員
- \* 公益財団法人先端医療財団 経営計画策定にかかる外部評価委員会 委員
- \* 一般社団法人日本国際知的財産保護協会（AIPPI・Japan） 特許庁委託 平成24年度産業財産権制度各国比較調査研究等事業 知的財産と遺伝資源の保護に関する各国調査研究 ワーキンググループ メンバー
- \* JST-CRDS、2012年ライフサイエンス・臨床医学俯瞰ワークショップ「ヒトと社会」分科会、俯瞰委員

#### ② その他

- \* 文部科学省 科学技術政策研究所・科学技術動向調査センター、専門調査員
- \* 特定非営利活動法人 21世紀構想研究会、メンバー（産業技術・知的財産委員会、委員）

- \* 一般財団法人 比較法研究センター 医療と法ネットワーク 賛同者・会員
- (3) 学会等における活動
- \* 研究・技術計画学会、事務局担当理事；第27回シンポジウム実行委員；第27回年次学術大会実行委員
  - \* 日本知財学会、理事；ライフサイエンス分科会担当理事；知財学ゼミナール担当理事；日本知財学会10周年記念事業 知財学ゼミナール書籍 編集委員長
  - \* 日本機械学会、法工学専門会議 運営委員会 運営委員ならびに幹事
  - \* 日本機械学会、東日本大震災調査・提言分科会 WG7（地震、原発事故等に対する危機管理） 委員
  - \* PICMET 2014 (Kanazawa) Local Arrangement Committee, Member
  - \* Asian Research Policy, Editorial Board Member
- (4) 審議会等における活動
- \* 衆議院経済産業調査室、客員調査員
  - \* 文部科学省 個人の遺伝情報に応じた医療の実現プロジェクト（第2期） ELSI 委員会、委員
  - \* 厚生労働科学研究費補助金 難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業（再生医療関係研究分野）ELSI 準備委員会 委員
  - \* 裁判所 専門委員（東京高等裁判所、東京地方裁判所、大阪地方裁判所所属）

## 6. 社会的貢献（B）

- (1) ジャーナリズムでの発言  
活字メディア
- \* 2013年10月18日 日刊工業新聞 24面にてコメント（知的財産マネジメント研究会について）
- (2) 講演会、座談会、会議出席
- \* 講演：弁理士 PA 会新人研修セミナー、「バイオ特許の最新動向」、2012年5月14日。
  - \* コメンテーター：発明推進協会 アジア太平洋工業所有権センター 2012年度 WIPO 長期研究生 カントリーレポート発表会、2012年5月17日。
  - \* 講演：研究・技術計画学会 関西支部、「これからの日本の知的財産戦略～iPS 細胞を例として～」、2012年5月30日。
  - \* コメンテーター：NISTEP レビューセミナー、「NISTEP における特許情報関連調査研究のこれまでとこれから」に対するコメント、2012年6月18日。
  - \* 講演：知的財産マネジメント研究会 全体セッション、「ラボノート再考：研究室におけるリーダーシップと知的財産マネジメント」、2012年7月7日。
  - \* 講演：JICA Program, Intellectual Property Rights (A), “Latest Trends in Bio-patenting,” 2012年7月17日。
  - \* 講演：大阪府工業協会 知的財産研究会、「バイオテクノロジーと特許保護の課題」、2012年7月18日。
  - \* 講演：日本機械学会年次大会ワークショップ「法工学の課題」、「知的財産と法工学」、2013年9月10日。

- \* コメンテーター：発明推進協会 アジア太平洋工業所有権センター 2012年度 WIPO 長期研究生 最終レポート発表会、2012年9月18日。
- \* 講演：東京理科大学 MIP・日本弁護士会講演会、「先端バイオ技術と知的財産権」、2012年9月20日。
- \* 講演：日本大学法学部セミナー、「ラボラトリー・マネジメントと知的財産」、2012年9月25日。
- \* 講演：JST-CRDS「ライフサイエンス・臨床俯瞰ワークショップ」、「知財戦略・イノベーション」、2012年11月20日。
- \* 講演：日中韓セミナー（NISTEP 主催 at 沖縄）、「Science-Driven Innovation in Japan,」2012年11月26日。
- \* 講演：日本知財学会第10回年次学術研究発表会 ライフサイエンス分科会セッション、「ライフサイエンス分野の知財研究の今後の論点」、2012年12月8日。
- \* 座長：日本知財学会第10回年次学術研究発表会、「産学連携及び新規事業」セッション、2012年12月8日。
- \* 司会：日本知財学会第10回年次学術研究発表会 知財学ゼミナールセッション、「知的財産イノベーション研究の展望：今後10年に向けて」、2012年12月9日。
- \* 講演：2nd Dialogue for Global Innovation held at University of Cambridge, “Utilizing Knowledge of Universities in Innovation System,” 2013年1月9日。
- \* 講演：特許庁昼休みセミナー、「民間企業の研究活動に関する調査報告2011」、2013年1月29日。
- \* モデレーター：政策研究大学院大学・文部科学省科学技術政策研究所・一般財団法人日本規格協会共催セミナー「標準化の歴史的側面」、パネルディスカッション「今後の科学技術政策・科学技術教育への含意」、2013年2月20日。
- \* 講演：Science & innovation Section, British Consulate-General Osaka, Workshop on Stem Cells - Building a Better Environment for Application, “Issues on patentability of stem cells,” 2013年3月7日。
- \* 講演：日本知財学会創立10周年記念事業ライフサイエンス分科会シンポジウム「海外からの遺伝資源の取得の機会と利益配分（ABS）に関する大学基礎研究・産学連携に関する問題」、「知的財産権から見た遺伝資源の課題」、2013年2月23日。
- \* 講演：行政書士知財勉強会、「日本企業の研究開発・知財活動・産学連携に関する動向」、2013年3月30日。
- \* GRIPS/NISTEP セミナーを実施：2012年11月13日、12月19日、2013年1月16日、2月13日。
- \* 総合オーガナイザーとして主宰（西村由希子氏とともに）：知的財産マネジメント研究会（Smips）、2012年4月14日、5月12日、6月9日、7月7日、9月8日（「第12回知的財産・産学連携ワークショップ」として開催）、10月6日、11月10日、12月15日、2013年1月12日、2月9日、3月9日。